

4月のリサイクル回収
9日 (第2水曜日)
23日 (第4水曜日)

ゆり北

第153号 (14期第11号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

自治会総会のおしらせ

4月27日(日) 午前中

第一五回ゆりの木北自治会の定期総会を四月二十七日に行ないます。今年も「安全で快適な住まいを、楽しく助け合うまちづくり」を合い言葉に、この一年間の活動報告、会計決算報告の承認を受け、今後一年間の活動方針、会計予算を審議・決定します。また、役員の選任を行ないます。総会は全員総会となっております。これは会員一人一人の意見を大事にして、こうと発足当初から採られている制度です。活発な意見の交換で実りある総会にしましょう。総会の議案特集号は、四月二十日頃までにお配りします。

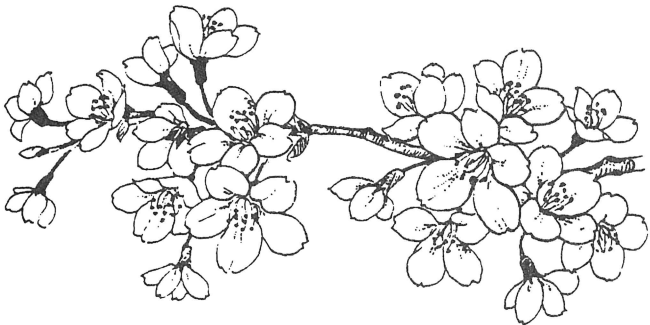
総会に先立ち役員選考委員会が設けられ、新年度役員名簿の準備が行なわれています。役員は任期が一年(再任は妨げません)、毎月一回程度開く役員会に出席するほか、住宅対策、防犯防災、生活環境、文化厚生、広報などの専門部の活動を分担します。なつまつり、文化展などは各棟の世話人さんとともに実行委員として活動します。

今年には公団民営化問題もあり賃貸住宅からの役員を必要としています。また各棟に最低一名は役員がいるようにしたいと思っています。

自治会活動を通じて、今までとは違った友人の輪が広がります。とくく仕事中心の縦の関係から、地域の横のつながりは楽しいものが生まれまわります。今年にはボランティア元年とも云われていますが、自治会活動は一番取りつきやすいものです。

あなたの自治会活動への参加をお待ちしています。

春だ、桜だ、お花見だ



今年にはちょっと桜の開花予想が早いそうです。恒例の四月第一日曜日では花吹雪がかわってしまいますかも。葉桜でもいいか、と予定通りに行ないます。飲み物を用意していますのでぜひお越し下さい。なお、会場については混雑を避け赤塚新町公園という案もあります。詳しくはポスターでご案内します。

日時 四月六日(日)

午前十一時頃から

場所 雨天の場合は十二号棟集会所
赤塚新町公園(団地北側)または光が丘公園

会費 無料

必要な公的住宅

民営化を考える住民集会

一月二日の衆議院本会議での亀井建設相の答弁以来、住宅都市整備公団(以下、公団と記す)が民営化されるかどうかで大騒ぎとなっています。これまでの公団のあり方については問題も多く、ゆり北自治会では東京北営業所との交渉、東京二三区自治会協議会北ブロック会議への参加或いは全国公団住宅自治会協議会(以下、自治協と記す)の活動に基づいて署名・カンパ等を行ってきました。今回も自治協より民営化反対等の全戸署名の要請がありますが、今後の自治会活動を行っていく上で、一度居住者の皆様の生の声を聞く必要があるのではないかとこのことで集会を開催いたしました。

会場の都合で日曜日の夜となりました。まいりましたが、一四名の参加がありました。まず、吉柳会長より状況説明(建設大臣の言明、公団家賃の分析、公団の経営状況等)を行い、次に賃貸住宅の居住者の皆様から意見を伺い、次のような意見が出ました。

- ①公団だから入居した。民営だったから入居しなかった。
- ②民営では二年に一回、契約の書換えがあるが、公団ではその手間が無い。
- ③他の光が丘の団地と連携を取って活動を行ったらどうか。
- ④区議会に意見書を出したり、地元選出議員に要望書を出したらどうか。
- ⑤署名の要求書は建設大臣では無く、総理大臣に提出したらどうか。
- ⑥国に住宅政策はあるのか。
- ⑦公団がなぜ民営化しなくてはなら

たいのか、理解できない。

- ⑧民営化するデメリットだけでなく、公団の問題点も考えるべきではないか。
- ⑨民営化を前提に建設大臣に要求書を提出すべきではないか。

等々の意見が出されました。特に民営化するかどうかは別としても、子会社を含めて今の公団の体質については問題が指摘されました。そして、今のままでは建設省のペー

スで公団の民営化が進められますので、それにブレーキを掛けるためにも自治協の民営化反対の署名活動に協力することで、集会参加者の理解が得られました。従いまして、三月二日より署名運動が始まりました。

始まりましたリサイクル

缶・びんの回収にご協力を

リサイクル事業(あき缶・あき瓶の回収)を開始しました。今まで燃えないごみとして出されていた缶・瓶類をリサイクルし、再資源化しようというものです。板橋区が平成四年度から開始しています。昨年資源化センターが本格的に稼働するようになって、全区域で実施可能になりました。ゆり北団地では粗大ごみ置き場に回収用のオリコンを置き、居住者の皆さんが直接持ち込めるようにしました。青色のコンテナには、ジュースなどの缶・茶筒、菓子の缶などスチール製品を入れていただきます。黄色のコンテナには、生き瓶といわれるリターナブル瓶(再利用可能なビール瓶、一升瓶など)を入れていただきます。また、緑色のコン

テナには、カラットとしてガラスの再利用原料となる瓶類を入れていただきます。

月二回(第一・第四水曜日)回収されます。コンテナは常時置きますので、区分に従い缶・瓶類を入れて下さい。瓶の蓋は外し、中は水で濯いでください。集積所の清潔を保つために協力ください。

油ものの缶・瓶、スプレー缶、陶器、蛍光灯は汚れや安全面から再利用できません。

ペットボトルの回収については、店頭で引き取る店ではじめていますが、現在リサイクルルートの開発中です。今後具体化され次第取り組んでいきます。



真剣な討議は続く

今後について

消費税値上げ前の三月中旬に、公団民営化の概要が発表になります。その前の三月二十七日に署名を建設大臣に提出します。また、現実に公団を民営化するにしても、沢山の問題が出てきますので、この一年で民営化が完了するとは思えません。従いまして、居住者の皆様の協力を得ながら息の長い活動を行って、少しでも私達の要求を達成出来るように、願っております。

安全なバイクライフを

けやき通りで死亡事故も

この団地に住むようになって、あつという間に十四年もたってしまった。入居と同時に開校した赤塚新町小学校にピカピカの一年生が入学、その一年生が今年成人式を迎えた。光陰矢のごとし。幾多の風雪に堪えた我が頭部方面軍も一本、二本と兵の数が減り、前線を後退させつつも、水際にて踏みとどまらんと奮闘している。我が身からひとたび周りに目をやれば、次世代を担う若者がゲンチャリで団地内を疾走する。停止させんと欲すれば、その速きこと風のごとし。盗難車らしいバイクを目立たぬよう植栽の陰にかくし、夜になるとどこからともなく二、三人が集まり、ノーヘル。無灯火で走りまわり、またどこかに去って行くといったことも目撃された。新町公園横のけやき通りでは死亡事故まで発生し、夜回りの時もその現場の状況を見て言

指導員にチャレンジ

今でも毎日バイクとつきあっているが、自分の息子がバイクに乗りたと言った時、私は息子に、正しい乗り方を教えるために、自分自身が練習に励むようになった。初心にかえて三年間その成果として五十を

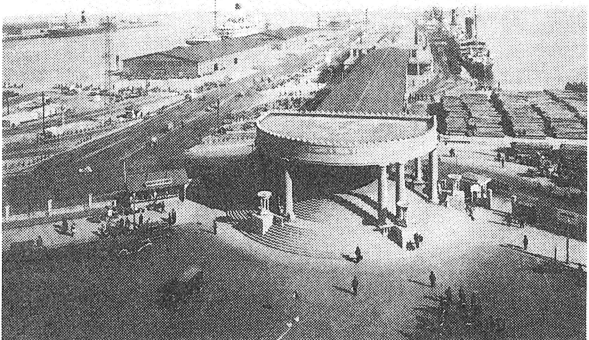
今を去ることちょうど五十年前の昭和二十二年、当時中学生であった私は、『アカシアの大連』と謳われた美しい町大連(現中国東北部)を引揚げた。時も同じ三月だった。みぞれ降る大連港で、これが大連最後の一步だと自分に言い聞かせながら、引揚船のタラップに足をかけた。

大連は、当時の満州国と違い、日露戦争に勝った日本が中国から九十九年間の契約で借り受けた、いわゆる租借地であった(これは香港と同様)。しかし敗戦とともにこんな条約は吹っ飛んでしまい在住日本人二十五万人は、内地に引き揚げることになった。船上で茫然自失、じっと大連の町並みを見つめている人、内地へ還る期待で談笑する人、さまざまであ

会員のひろば

さらば大連

夕闇が迫っていた。みぞれは依然として止まない。大連の町並みをかき消すように。親友の顔が浮かんだ。あゝさらば大連。



思い出の大連港



陽だまりハイキング(大泉中央公園) 十一名が参加。日食も見たよ。

五号棟の九〇六号 高橋広志

からです。バイク乗りは不良じゃないのです。

安全講習会に参加を

ここで、講習会について簡単にご案内します。場所は府中運転免許試験場内 毎月第一、第三日曜日。受付は午前八時三十分から九時三十分まで。二輪コース待合所にて。事前の申込不要。参加費は保険代一〇〇円だけ。バイクと弁当自分もち。食堂あり。雨天中止。違法改造車はダメ!! 講習は午前一〇時から午後三時三十分まで。内容は、一本橋、ちどり、波状路、S字、クランク、パイ

彫刻を楽しんだ長崎の旅

変則勤務になったおかげで三連休になった三月はじめ、長崎方面に二泊三日の旅をした。三〇年ほど前に労組の大会で熊本に行った帰りに長崎の平和公園を訪ねて以来である。



二六聖人像

変則勤務になったおかげで三連休になった三月はじめ、長崎方面に二泊三日の旅をした。三〇年ほど前に労組の大会で熊本に行った帰りに長崎の平和公園を訪ねて以来である。列車で一日がかりだった旅も今は飛行機で一時間半、快晴の長崎空港に降りた。第一日は、大浦天主堂、グラバー邸、孔子廟など市の南部をたずね、夜は稲佐山から日本三大夜景の一つを楽しんだ。二日目は朝九時前に長崎駅前にある舟越保武さんの作品の二六聖人像を見た。すばらしい作品であった。信者ではないが手をあわせてなる思いになるのは作品の力なのだろう。この裏面にある「殉教の道」も良い作品だと思う。石がびっしり積みこんであるだけの様だが、深い意味がこめられている。平和公園は地下に駐車場が出来ており、びっくり。北村西望さん作の祈念像の大きさと力強さに平和への希いの強さを感じた。爆心地の原爆資料館、浦上天主堂も見た。午後からは、レンタカーで島原半島に足を延ばす。原城跡は天草四郎時貞など民衆軍が最後をとげた場所、断崖の下に青い海が広がり、もう菜の花も咲いていて静かな城跡はそれだけで感無量という思いであった。そのあと、北村西望さんの生家を訪ね、多数の作品を見せていただいた。北村西望さんは、板橋区役所に設置してある平和の像の作者でもある。一〇三才までの長寿者である。この日は雲仙温泉泊まり。久しぶりの温泉でゆっくり温まった。三日目は、ロープウェーで妙見岳に、五年前に大噴火のあった普賢岳の隣の山である。まだ頂上付近にはドームが残り、噴気も立ちのぼっている。東側の斜面には火砕流が流れ下った跡が生々しかった。

編集後記

四号棟 吉柳・記

『サクラサク』は東大の合格電報だが、この光が丘公園の桜も間もなく『合格』となるであろう。ついこのあいだ紅梅が残雪の中に凛として愛らしい花をつけていたが、絢爛、万朶の桜を見るのも近い。楽しみだ。こころ弾む思いがする。

この団地新聞『ゆり北』の編集を担当して早一年が来ようとしている。『読まれる新聞』『読みたくなる新聞』を目標に、幅広く団地内住民の声を載せ、さらに写真、カットなどを増やして、より親しみのもてる紙面作りに努力して来たが、顧みてその成果たるや忸怩たるものがある。しかし幸運にも第一五〇号の記念すべきマイル・ストーンを手掛けることができたことを部員一同(吉柳、滝谷、渡辺、島田)感謝するものである。